



山形県立 山形東高等学校

令和3年度

経営計画

— 校 是 —

文武両道

質実剛健

自学自習

I 教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間を育成するとともに、
国家・社会の有為な形成者として必要な資質を養うため、
次の目標掲げる。

- 1 創造力に富み、心豊かでたくましい人間の育成
- 2 自主的・自律的に行動できる、個性豊かな人間の育成
- 3 広い視野を持ち、国際社会に貢献できる人間の育成

II 教育方針

- 1 探究心を培い、主体的に課題解決する資質・能力の育成に努める。
- 2 心身の調和的発達を促進するため、感性の陶冶と情操の醇化に努める。
- 3 自律的生活態度と協調の精神を養い、広い視野と社会性の涵養に努める。
- 4 スポーツ・文化活動を盛んにし、心身の健康の増進を図り、強靱な意志の育成に努める。

III 学校経営目標

- 1 教育目標を達成するため、全教職員が当事者意識を持ち、協働する体制を確立する。
- 2 生徒の自己確立に向けて、生徒とのかかわりを基本にすえた積極的な指導を推進する。
- 3 家庭・地域と連携しながら、社会に開かれ、期待に応える学校づくりを進める。
- 4 働き方改革を進め、教職員の健康の保持増進、サービスの厳正、資質の向上に努める。



Ⅳ 年度重点目標

1 いのちの教育と生徒指導の充実

- 1 かけがえのない自分の「いのち」と他者の「いのち」を尊重する姿勢を育む。
- 2 教員による生徒観察と家庭との連携を深め、健全で充実した学校生活の基盤を形成する。
- 3 生徒会活動と部活動を充実させ、自己実現を図り、連帯感を醸成する。

2 探究型学習の推進による学力の向上

- 1 自立した学習者を育成するため、自ら課題を発見し解決を図る探究型学習を学校教育全体で推進する。
- 2 全ての生徒の基礎学力充実のために、授業中心主義を徹底する。
- 3 生徒の授業評価による授業改善や研究授業を通じた授業力の向上を図る。
- 4 授業及び家庭学習においてICTの効果的な活用を促進する。

3 キャリア教育の推進と進路指導の充実

- 1 生徒が自己の在り方生き方を考え、進路選択・決定とその実現に向けた努力ができるように、「キャリア教育総合実践プログラム」に基づきキャリア教育を推進する。
- 2 3年間を見通した進路指導を行うため、各年次で必要な指導について共通理解を持って進める。
- 3 大学入試改革に対応し、高い進路志望を実現するための指導方法について研究を深める。

4 地域連携の促進と郷土愛の醸成

- 1 地域の魅力や課題をよく知り、郷土やまがたに対する誇りと愛着を持った生徒を育てる。
- 2 探究活動や社会参加活動において、積極的に地域との連携を促進する。

5 健康の保持・増進と安全・安心な学校づくり

- 1 生徒及び教職員の心身の健康の維持・増進を図る。
- 2 危機管理体制をハード・ソフト両面から整備し、災害・事故の防止に努める。
- 3 学習環境の整備・保全とその美化に努める。
- 4 新型コロナウイルス等の感染症対策を徹底する。

6 読書習慣の形成と感性教育の推進

- 1 読書を心の糧とすべく、生徒が利用しやすい読書・学習の環境を整備する。
- 2 芸術鑑賞の機会を多く設け、豊かな感性を養う。
- 3 探究型学習にも対応する図書館環境を整備し、その活用を支援する。



V 教育活動の推進

1 三つの校是を実践する真の山東生を育てる。

教育活動を効果的に進めるために、本校では三つの校是「文武両道」「質実剛健」「自学自習」を掲げ、生徒がこれらの校是を実践するよう推進していく。真の山東生とは、向上心と高い自律心を持って、校是をたくましく実践する生徒である。

- 1 文武両道:学業とともにスポーツ・文化活動・探究活動・ボランティア活動等に一生懸命取り組む生徒
- 2 質実剛健:飾り気がなく態度がまじめで、心身共に健康な生徒
- 3 自学自習:自立した学習者として、主体的に課題解決に取り組み、学力向上に努める生徒

2 文武両道の指導を充実する。

社会に有為な人材となるためには、学業の充実(知性)とともに、心身共に健康で円滑な人間関係(社会性)をつくることが重要である。このため、学業は勿論のこと、部活動や学校行事、生徒会・委員会活動・探究活動への積極的な参加を奨励する。生徒の自主的活動を積極的に支援し、「文武両道」の実現に向けて、自律的に時間の有効活用ができるように、きめ細かな配慮を行う。

3 難関大学合格に向け、効果的な指導・援助を行う。

本校においては、多くの生徒が難関大学への進学を希望している。65分授業を通した効果的な学習指導に加え、生徒の実力と挑戦意識を高めるために、本校教員作成の問題による学力考査を実施する。5教科7科目(6教科7科目)の大学受験に対応した本校教育課程を実施する。

授業中心主義を貫くとともに、生徒が主体的・探究的に「自学自習」を進められるように年間授業計画(シラバス)を作成し生徒に提示する。また、平日講習、特別講習を進路指導計画に基づいて実施し、その目標達成を図る。

4 社会に生きる人間の育成を推進する。

これからの国際社会・国家社会を形成する人材は、個性と社会性と創造性に富む者でなければならない。その基盤として、社会に生きる人間としての資質をしっかりと身に付けることが重要である。勉学や部活動の他、探究活動等を通して社会生活上のモラルやルールを学ばせるとともに、自分のよさや有用感を感じさせながら、他との円滑なかかわり(挨拶の励行、コミュニケーション)を図れるように日々手だてを講ずる。そのため、学校全体で「質実剛健」の気風を高揚するとともに、生徒が生徒会を中心として主体的によき校風を樹立できるよう支援する。

5 本校の教育活動の情報を地域社会に積極的に提供する。

本校の教育活動の情報を生徒、保護者、学校評議員等に提供する。従来の校内刊行物や教育活動広報紙を発行・更新するとともに、ホームページ(www.yamagatahigashi-h.ed.jp)の更新・充実を図り、地域社会に情報を公開することで、理解と支援を得る。中学校への訪問、授業公開をより一層拡大充実し、連携交流を深める。



VI 具体的目標

- 1 毎日の家庭学習時間を、年次+2時間以上を目標に取り組ませる。
- 2 毎月の出席率平均が99.0%以上をめざす。
- 3 前期において各年次皆出席者を明確にし、1年間皆出席者を全校生の50%をめざす。
- 4 3年間皆出席者を3年次生徒の25%をめざす。
- 5 授業改善に向けて、探究型学習を取り入れた授業の互観を年3回(内、他教科を1回)以上行う。
- 6 探究型学習の成果として、校外発表を年間50件以上行う。
- 7 東大・京大の合格者数合わせて2桁をめざす。
- 8 部活動等で団体5種目以上、個人種目10人以上の全国大会出場をめざす。
- 9 登下校時の安全を図り、交通事故ゼロをめざす。
- 10 社会参加・ボランティアを促し、各種の地域・施設情報を特定掲示板で毎月定期的に紹介し、参加しやすい体制をとる。
- 11 防災・災害対応訓練を年4回行い、危機管理意識の高揚と生活・校舎の安全を図る。
- 12 PTA総会・研修会(公開授業を実施)の出席率70%以上をめざす。
- 13 PTA会報を定期的に発行するとともに、保護者・学校評議員等の意見を聴き、経営改善に努める。
- 14 清掃徹底日(毎週水曜日)と月例大掃除の取組みにより、校舎内外の環境美化に努める。
- 15 生徒保健委員会の「生徒保健だより」を年間8回、保健課発行の保健室だよりを年間8回発行して、心身の健康の保持増進を図る。
- 16 年18回のカウンセラー相談日を設定し、生徒・保護者との教育相談活動を充実させる。
- 17 読書を推奨し、年間一人平均15冊以上の読書量をめざす。
- 18 校内読書感想文コンクール等への積極的な応募を促し、提出率100%をめざす。
- 19 教科学習及び読書のための図書館及び図書資料の利用を積極的に推進する。
- 20 ゆとり創造運動を推進し、土曜講習等に伴う代休措置の取得率100%をめざす。
- 21 「エコ・環境保護」を合言葉に水道、光熱費及び消耗品費等の節約に努める。